

「主な取組」検証票

施策展開	1-(5)-ア	文化資源を活用したまちづくり
施策	②地域文化を活用したまちづくりの促進	
(施策の小項目)	—	
主な取組	古民家を生かした地域活性化支援事業	実施計画 記載頁 55
対応する 主な課題	○文化資源は人々を魅了し引きつける力を持っているが、こうした文化資源の持つ様々な価値や魅力に地域の人々が気づかないことも少なからずあるため、地域外との交流を通じて地域文化の掘り起こしを図っていく必要がある。	

1 取組の概要(Plan)

取組内容	地域に根付いた古民家を保全・活用し、地域の活性化を図るため、講習会を行い景観の保全に資する取り組みの普及・促進を行う。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
		1回 シンポジウムの開催			→	→	県 市町村 関係団体
	古民家の再生・活用の普及・促進						
担当部課	土木建築部 住宅課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成25年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
住宅建築に係る講演会	1,279	1,351	沖縄の伝統木造住宅等文化財建造物の保存修理や環境共生住宅に関する取り組みを紹介する講演会を2月に開催した。	内閣府 計上
活動指標名			計画値	実績値
シンポジウム開催数			1回	1回
推進状況	平成25年度取組の効果			
順調	沖縄の伝統木造住宅等文化財建造物の保存修理等に関する講演会を2月に開催し、大学生や建築士など172人の参加があった。 同講習会により、技術者が育成されたことにより、古民家の保全・再生・利用について普及、啓発が図られた。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成26年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
住宅建築に係る講演会	1,793	沖縄の木造住宅の保全・再生・利用を紹介する講演会を1回開催し、古民家の再生・活用の普及、啓発を図る。	内閣府 計上

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

古民家の保全に向けた技術者の育成や啓蒙を広く図るため、沖縄の木造住宅を紹介する講演会について、チラシ(1,500部)、ポスター(10部)を作成、関係団体に配布し、技術者から大学生まで幅広く呼びかけて実施した。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
県が支援した市町村主催の文化芸術関連イベントの来場者数	521人/年 (23年度)	35,146人/ 年 (25年度)	1,000人/年	34,625人/ 年	—
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—
状況説明	沖縄の伝統木造住宅等文化財建造物の保存修理等を紹介する講習会を開催することで、技術者の育成になり、古民家の保全・再生・利用につながると考えられる。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

- ・伝統的軸組構法で木造住宅を建築できる大工や職人が、需要減少のためにほとんどいなくなっている。
- ・古材活用の課題として、古民家の解体、古材の加工や処理、保管や展示に手間と費用がかかり、販売価格が割高である。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

- ・伝統的軸組工法で木造住宅を建築できる大工や職人を増やす必要がある。
- ・古民家の需要を増やすため、県民の関心を高める必要がある。

4 取組の改善案(Action)

- ・大工や職人を増加させるために、古民家の再生に係る講習会について、建築技術者に向けて広く広報する。
- ・古民家の需要を増やすため、関係課(都市計画・モノレール課)と連携し、県民等に対して古民家の魅力を発信する。

「主な取組」検証票

施策展開	1-(5)-ア	文化資源を活用したまちづくり		
施策	②地域文化を活用したまちづくりの促進			
(施策の小項目)	—			
主な取組	都市公園における風景づくり	実施計画 記載頁	55	
対応する 主な課題	○沖縄県内では、一部市町村においてエイサーや地域の食文化を活用した地域づくりが進められているが、さらなる地域活性化を目指し、地域の個性豊かな文化資源を取り入れたまちづくりの取組はこれからの課題となっている。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	沖縄らしい文化的な歴史資産、風土および自然と共生する憩いの場を創出するため、都市公園の整備を行う。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	40.9ha 供用面積			→	58.9ha (累計)		国 県
	歴史景観と調和する都市公園の整備 (首里城公園、中城公園、浦添大公園)					→	
担当部課	土木建築部 都市計画・モノレール課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成25年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
国直轄	—	—	国は国営沖縄記念公園首里城地区において、北城郭地区の復元整備等を行っており、県営公園区域においても、国営公園区域と一体となった整備を行った。	—
公園費(社会資本整備交付金)	987,007 (403,504)	671,978 (398,840)	県営都市公園において、文化財調査、園路、遊戯施設、便益施設等の公園施設の整備を行った。	内閣府 計上
活動指標名			計画値	実績値
供用面積			45.4ha	集計中 (参考: H24d) 32.0ha
推進状況	平成25年度取組の効果			
やや遅れ	県営都市公園において、沖縄らしい文化的な歴史資産、風土及び自然と共生する憩いの場の創出に向けて、文化財調査、園路、遊戯施設、便益施設等の公園施設の整備を行ったが、継続的な整備が必要なため、供用に至っていない。			

様式1(主な取組)

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成26年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
国直轄	—	国は国営沖縄記念公園首里城地区において、北城郭地区の復元整備等を行い、県営公園区域についても、国営公園区域と一体となった整備を行っていく。	—
公園費(社会資本整備交付金)	776,211 (281,302)	首里城公園においては、園路、文化財調査等、中城公園においては、園路、休養施設等、浦添大公園においては、園路等の整備を行う。	内閣府計上

(3) これまでの改善案の反映状況

<p>公園事業の事業進捗を図るために、用地取得が不可欠であることから、地元自治会、関係者等とも協力しながら、公園事業の必要性等、重要性を説明し、事業推進に取り組んだ。 また、文化的に貴重な施設等については、発掘調査等を進める必要があるため、効果的に進められるよう整備スケジュールの調整等を行った。</p>
--

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
—	—	—	—	—	—
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
歴史景観と調和する都市公園の供用面積	32.0ha (22年度)	32.0ha (23年度)	32.0ha (24年度)	→	—
状況説明	公園事業の事業進捗を図るため、早期の公園事業用地取得に努め、事業を推進しているところであるが、地権者等の協力が得られないことや、文化的に貴重な財産もあることから、それに必要な発掘調査等の慎重に実施しながら進めていることもあり、効率的な整備ができずにいるため、供用面積拡大につながっていない状況にある。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

<p>・公園整備については、用地取得や物件補償等について、地権者等の協力が得られないため、計画どおりに事業進捗しておらず、効率的かつ効果的な整備ができてない状況にあり、H25年度整備箇所においては、継続的な整備が必要なこともあり、供用できるまでの状況に至っていない。</p>

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

<p>・整備の効果を早期に発現させるため、部分的な供用開始も含めた効率的かつ効果的な整備に努めるとともに、公園用地取得に向けては、円滑な事業推進のため早い段階から地元自治会、関係者等の協力が必要である。 ・また、文化的に貴重な財産もあり、発掘調査も併行しながら整備を進める必要があるため、関係機関等の連携が必要不可欠である。</p>
--

4 取組の改善案(Action)

・地元自治会など関係者の協力を得ながら、地権者や所有者などの交渉を円滑に進めることにより、用地取得等の遅れを取り戻すとともに、また、これまでに整備した箇所において、部分的な供用の可能性についても再検証していく。

・また、発掘調査等を担当する関係機関と連携を密にすることで情報を共有し、今後とも事業進捗に向けて連絡調整を行い、文化財に対して適切な対応を図りながら、事業を推進していく。